

# 「勇気づけのピアノレッスン」

No.12

=「夢がない」と言う子どもにビックリ!=

私は時々、生徒さんに自分の夢を語ってもらっていますが、数年前にこんな会話をありました。ある小学校低学年の生徒さんに「○○ちゃんの夢はな～に？」と尋ねると「夢なんてないよ。」「先生、私ね、おとなになりたくないの。働くのも嫌いだから」と言う答えが返ってきました。私はビックリして、聞き返しました。そんな返事が返ってきたのは初めてでした。「え? ○○ちゃんはおとなになりたくないの?」「うん! だって、すごく大変そうだから」私は、最近の子どもは将来に希望がないのかなあと、うすうす感じていましたが、ここまでだったとは思いもかけなかったのです。

=おとなもワクワクしてみませんか?=

おとの世界は確かに大変です。厳しいです。働くには食べていけないし、子どもたちにも十分に食べさせてあげられなくなります。それは私も三人の子育てをしているので身に染みてよく分かります。けれども、子どもたちにもっと夢をもつてもらいたい。そして、音楽で元気になってもらいたいと思うのです。それには、おとながまずワクワクした気持ちを思い出してみると何でもないかと思っています。

=ワクワクを引き出す質問とは?=

子どもたちにイメージ力をアップさせる「読み聞かせ」は一番のお勧めです。そして音楽でもワクワクを引き出すことができます。子どもが曲ある程度弾けるようになった時に、こんな質問をされてみてはいかがでしょうか? 「この曲ってどんな景色が思い浮かぶ?」「この曲を物語にするとどんな感じ?」「この先ってどうなると思う?」「どんな音で弾いたらもっと素敵になるかな?」あるいは「この曲が弾けるようにならどんな気持ちになるかな?」等々です。テストではありませんから正解などありません。子どもたちに自由に想像させることで、空想の世界を導き出していくのです。子どもたちは、これらの質問をきっかけにどんどんファンタジーを創造していきます。そして、子どもが答えてくれたことを、一緒に面白がりワクワクしてみてはいかがでしょうか? 「それって楽しそうだね!」「凄いね!」「なんかワクワクするね」と。もちろん、こういうことがすぐにできない生徒さんもいます。それでも、みなさんが存知の通り、子どもの頭はとても柔らかいものです。質問をしているうちに徐々に慣れ、楽しさやワクワクを体験することができるようになります。子どもの好奇心をどんどん引き出せるようになったら素晴らしいと思いませんか。

松井美香

元気と笑顔がトレードマーク「勇気づけの音楽家」・音楽指導者・教育カウンセラー・「藤沢勇気づけの会」代表。東京音楽大学ピアノ専攻卒業。  
<HP>～松井美香ピアノ教室～<http://matsuimika-piano.net/> ※体験レッスン受付中 <Facebook> <https://www.facebook.com/mika.matsui.94>  
<ブログ>「勇気づけ 100 の指導法で子どもと親の自己肯定感を育てる」<http://ameblo.jp/makeachangewithlove>  
※保護者指導者向け勇気づけセミナー随时開催

CD-BOOK

## Franz Schubert ~Winterreise 冬の旅

松本 隆／現代語訳

【演奏】鈴木 准(テノール) 三ツ石 潤司(ピアノ)

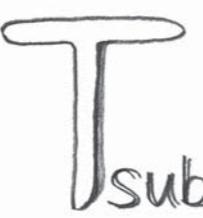
2015.2.24 発売



### 絶望ほど、深く美しいものはない～松本 隆

シューベルト31歳、ミュラー32歳。若くして逝った二人がそれぞれ作品に込めたものは…。  
稀代の詩人、松本隆による現代語訳を、気鋭のテノール、鈴木准が、ピアニスト、三ツ石潤司とともに歌い上げる!  
最初のリリースから20年を経た今、“現代の”若者にこそ聞いてほしい、“現代の”“冬の旅”が登場!

■B5判変型／詩集98頁+CD1枚 \*ケース入り／本体価格3,500円(税別) ★録音:2014年12月16-18日(セレスホール:長野県上田市)／デジタル72分



系譜集部のつぶやいたー!

おみくじを引きに行きたいです。  
おすすめスポットを教えてください。(お)

follow me!

twitter やってます♪@gakken\_music 日々のよしなしことや最新情報を  
サイトしています!

年末に、私の心の中でベスト・オブ・コンサート2014の授賞式を開催しました。2014年にかけたコンサートやライブで体感した感動を思い出し、その余韻に浸る…という私の毎年恒例行事です。心の中で開催したので結果は秘密です。今年も様々なコンサートやライブに出かけたいな!(の)

## 究極の名盤を聴く⑤ J.S. バッハ

### イタリア協奏曲 へ長調 BWV971

究極の名盤ガイド『クラシックCDエッセンシャル・ガイド150』をもとに、歴史に残るピアノ曲の名盤の数々を紹介するコーナーです。第5回目の今回はJ.S.バッハの「イタリア協奏曲へ長調BWV971」です。1734年に作曲され、翌年1735年に出版されました。独奏器樂曲であるにも関わらず協奏曲とありますが、それはチェンバロの右手が協奏曲という独奏部分を、左手がオーケストラ部分を担当するためです。

#### 名盤 BEST 5

1. グスタフ・レオンハルト (Hpsc)  
[セオン／SRCR2423-4] (1976年)
2. グレン・グールド (Pf)  
[ソニークラシカル／SRCR2619, SGR716] (1959年)
3. ヘルムート・ヴァルヒヤ (Hpsc)  
[EMI／TOCE3121] (1960年)
4. アルフレッド・ブレンデル (Pf)  
[ユニバーサル ミュージック／UCCD4411] (1976年)
5. トレヴァー・ピノック (Hpsc)  
[Archiv／POCA2056] (1983年)
6. ワンダ・ランドフスカ (Hpsc)  
[Biddulph／LHW032] (1935-6年)
7. ワルター・ギーゼキング (Pf)  
[EMI／TOCE11511] (1940-2年)
8. カール・リヒター (Hpsc)  
[Archiv／F20A20064] (1969年)

(輸入)=輸入 (廃)=廃盤

グスタフ・レオンハルト Gustav Leonhardt [1928-2012 (オランダ)]  
レオンハルトのバッハには、端麗な風格とともに一種独特的な表情があります。“大家らしい弾き癖”と受け取る人もあるかもしれません、彼の場合、バッハとバロック期の様式を深くと究めた結果がすべて表現に表れているのです。どんなに表情豊かであっても、19世紀的な“ロマンティック・バッハ”とは明らかに一線を画しています。

グレン・グールド Glenn Gould [1932-82 (カナダ)]

27歳の若きグールドならではのスピード感が快いストレーで意欲的な名演。中でもスピード感にあふれる第1楽章では、冴えたタッチから生まれる鮮烈な表現が印象深く、細部の立体的な抽出などにも非凡な手腕が示されています。グールドの才能と英知が結晶したこの『イタリア協奏曲』は、創造的な演奏ともいえる名演です。

ヘルムート・ヴァルヒヤ Helmut Walcha [1907-91 (ドイツ)]

ヴァルヒヤは3つの楽章のそれぞれの性格を浮かび上がらせ、しかも三者が構成する協奏曲の様式をしっかりと保持しています。彼のテンポはその点で適切であり、ひとつひとつのフレーズが豊かな表情を伴っています。そこには健康な精神と結びついた豊かな生命力があり、それは聞く人に生きる喜びを与えてくれるようです。



「クラシックCDエッセンシャル・ガイド150」(小社刊)より

## ピアノの森から

\*田丸信明先生のすてきなオリジナル曲をご紹介します\*

第9回

「新訂 ピアノの森」第4巻、そして第5巻、もうお手にとっていただけましたか? 今月は、第5巻から田丸信明先生の「ワルツ」をご紹介します。ショパンのワルツ作品は「ピアノ曲としてのワルツ」というジャンルを確立したとも言えますが、田丸先生の「ワルツ」は「ピアノ作品としての魅力にあふれる」という点で、ショパンを想わせる素敵な曲です。シンプルな音使い、おしゃれなヘミオラっぽいメロディーやシンコペーションのリズムは、「ワルツ入門」にぴったりです。(か)



単音とその鍵盤を弾く指のよいコンタクトを確認できるようになつたら、まとまつたパッセージに挑戦してもらいましょ。簡単に覚えられるくらいのひとフレーズが適量だと思います。長くてもおよそ1~2小節までが限度ではないでしょうか。

単音レベルでは指と鍵盤のよいコンタクトがとれていても、音がつらになるとよいコンタクトが崩れてしまいがちです。とくに注意を払つてもらいたいのは、指から指へ移るあいだの感覚。たとえば「CDEFG」を右手の1~5の指で弾く場合、「1」から「2」、「2」から「3」、「3」から「4」、「4」から「5」といったように、つぎの指に移っていくときの感覚を十分に感じでもらうようにします。指が支えている腕の重みが、少しづつ移動していくような感覚ともいえるかもしれません。これをゆっくり丹念に行ってもらうには、「レガートで弾いてください」と伝えるとうまくいくことが多いようです。

もうひとつの注意点は、まとまつたパッセージの分割です。簡単に覚えられるくらいのひとフレーズのなかにポジションの移動がある場合は、それぞれのポジションについて前段の方法で練習してもらい、その後にポジション同士をつなげていきます。たとえば「CDEFGAHC」という音階がひとフレーズだとしましょう。これを右手で弾く場合には、

**黒田篤志** くろだ・あつし  
1973年生まれ。早稲田大学修士課程修了。日本アマチュアピアノコンクール7位入賞。  
出版社にて楽譜と書籍の編集を担当。現在小山市で、大人のピアノ教室“Lento レント”を主宰するたわら、フリーの編集者、ピアニストとして活動中。  
<http://ameblo.jp/pianote0519/>



### 《学研新刊情報》

この春、かわいいレッスングッズを贈りませんか？

卒業・入学のお祝いに、発表会のプレゼントに、新しく習い事をはじめるあの子に…



**2月16日 発売**

**レッスンバッグ(ブラウン／グリーン)**

■各: 本体価格 1,800円(税別)

**楽譜力バー(ブラウン／グリーン)**

■各: 本体価格 1,000円(税別)

次号、おんがく通信3月号では  
「レッスンが楽しくなるアイディア」を特集します！  
お楽しみに♥



**ピアノの先生  
のための  
イラスト集**

はじめてでも安心!  
パソコン操作ガイド付き

CD-ROM  
付き  
for Windows

ピアノの先生  
お助けBOOK

Happy Lesson

**発表会編 発売中**

発表会準備はコレ一冊でOK!

“生徒さんの大切な思い出”だから、楽しい発表会にしたい…  
そんなときは、かわいいイラストが解決！

イラスト約600点 & フォーマット約40点 収録！  
〔フォーマット〕プログラム／会場内看板／招待状／発表会のお知らせ／アナウンス原稿…

**教室運営編 2月23日発売予定**

教室運営の心強い味方！

お教室の雰囲気にあわせたポスターや生徒募集チラシが  
ご自宅でカンタンにつくれます！

イラスト約400点 & フォーマット約100点 収録！(予定)  
〔フォーマット〕ポスター・生徒募集チラシ・名刺／パンフレット／入会書類／管理ツール…  
■各: AB判／96頁／4C・1C／CD-ROM付き／本体価格 1,600円(税別)

Lento

大人のレッスン

Lesson.6



「123」「12345」という指づかいになります。単純なハ長調の音階ですから、簡単に覚えられるくらいのひとフレーズです。しかし「E」と「F」のあいだにポジションの移動がありますから、このフレーズをきれいに弾くことは困難です。この場合、思い切って「123」と「12345」を別物ととらえてもらい、それぞれをレガートで丹念に弾いてもらいます。慣れたらそれぞれのポジションをつなぐ練習に進みます。私は以上の取り組みを説明するときに、「音楽的フレーズ」と「テクニック的フレーズ」という言葉を使っています。ハ長調の音階にあてはめると、前者は「CDEFGAHC」、後者は「CDE」「FGAHC」になります。大人のピアノの場合、練習のねらいを明確に把握してもらうことが大切。①簡単に覚えられるくらいの「音楽的フレーズ」を選択する、②そのなかにある「テクニック的フレーズ」を確認する、③それぞれの「テクニック的フレーズ」をカラダに入れる、④それをつなぎながら選択した「音楽的フレーズ」を仕上げるという4つのプロセスを踏まえ、順序よく仕上げてもらうことを心がけています。

黒田篤志

今月のあかね 先生



♪「おかしの いえ」(『ピアノのほん①』P.21より)

8小節の短い曲ですが、とてもかわいらしいメロディーです。前半4小節間の流れるようなフレーズは、歩きながらあたりをぐるりと見渡しているかのよう。足元のアイスボックスクッキーをたどつていくと、カラフルなロリポップやキャンディケーン、赤いドレンチェリーのなるクッキーの木に囲まれた、おかしのいえにたどり着きました。煙突からは、ドーナツのけむりがもくもく。後半は、「たんたんたんーあん」というリズムが出てますが、チョコレートのドアをコンコンとノックして、耳をあてて中の音を聞いているようです。そして最後にやっとドアが開いて…そこから先はどんな世界が待っているのでしょうか。挿絵からあま~い香りが漂つてくるようで、想像がふくらみます♪

♪「シチュー」(『ピアノのほん レパートリー①』P.16より)

こちらも8小節の短い曲。2匹のりすさんが、自分のからだよりも大きな木べらで、赤いなべに入ったシチューを作っています。上がったり下がったりするフレーズは、まるでりすさんがシチューをやさしくかき混ぜる動きを表しているよう。曲の雰囲気も、どこかなつかしい感じがして、おうちに帰りたくなります。ぐつぐつ…そんな音が聞こえてきそうな、あたたかい曲です。



【テキスト(全3巻)】  
■各:菊倍判／4C／本体価格 1,200円(税別)  
■1巻 50頁／2巻 52頁／3巻 48頁 ※各巻指導者向けページ付き  
【レパートリー(全3巻)】  
■各:菊倍判／40頁／4C／本体価格 1,000円(税別)



★完結記念★特別小冊子!!

■B6判／4C／32頁／無料

全国の楽器店で  
無料配布中!!

**つむりの  
練習手帳**

今週からつむりの習いごとが1つ増えました。そして、コンクールの課題曲も発表になりました。どっちをどうしたらいいかよくわからなくなっちゃったつむりは、熱ぱっかりだしていて(知恵熱?)、“つむりっぷり”がMAXになっちゃって、つむりの周りだけ時間が止まっているみたいですね。当然ピアノの練習はサボりまくりです。(トホホお兄)

**つむり現在の楽譜**

- ☆ハノン・ピアノ教本
- ☆ポリフォニー・アルバム
- ☆海の日記帳
- ☆子どものソナチネ

**編集部チョイスおすすめの1曲**

**ごちゃまぜわらべうた (わらべうた)**

レベル:★★☆☆

ズバリ、タイトルのまま！

いろいろなわらべうたがごちゃまぜになっています。  
出てくるわらべうたは、

『ほたる』

『かごめかごめ』

『ひらいたひらいた』

『いちばんぼし』

『なべなべそこぬけ』

右手と左手がそれぞれにメロディーを弾いていきます。  
(編曲: 加賀美江)

掲載楽譜  
ピアノ★パレード 2

